

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 松本油脂製薬株式会社
 コード番号 4365 URL <http://www.mtmtvs.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 木村 直樹
 (氏名) 山田 正幸

TEL 072-991-1001

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	13,732	△2.5	983	48.5	757	41.9	469	267.1
24年3月期第2四半期	14,080	8.7	662	△14.9	533	△5.3	127	△61.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 133百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △37百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	46.15	—
24年3月期第2四半期	12.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	46,186	37,679	81.1
24年3月期	46,140	38,054	82.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 37,475百万円 24年3月期 37,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,300	8.4	1,900	43.9	2,150	34.0	1,150	83.6	112.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	11,281,629 株	24年3月期	11,281,629 株
25年3月期2Q	1,104,233 株	24年3月期	1,104,233 株
25年3月期2Q	10,177,396 株	24年3月期2Q	10,178,221 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しておりますが、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原発事故による今夏の電力の供給不安を個人や産業界の節電対策で乗り越えましたが、長期化する円高により製造業の海外移転が加速し、東日本大震災の復興を目的とする増税が決定したことで、先行きは不透明感が拭えない状況であります。また、欧州の信用不安、景気停滞懸念、中東情勢の緊迫化で世界経済は不透明感を増しており、内需拡大を続けていた中国をはじめとする新興国にもその影響が見られ、世界経済は緩やかな減速が見受けられます。

当社グループの重要な販売分野である国内繊維産業におきましては、長引く円高で海外生産が更に拡大するなど、その影響を受けております。一方海外の繊維産業向けでは、深刻化する欧州の債務問題で中国の景気が減退し、アジア地域やその他の地域にも影響が波及しております。

非繊維分野におきましては、国内の自動車生産は震災の影響から順調に回復し、堅調に推移しております。住宅関連は補修用材料の販売が好調に推移しております。一方海外では、米国、欧州の経済不況の影響を受け、中国をはじめとするアジア諸国も景気が低迷しております。また、円高も続いており、引き続き製品価格の適正化を図っております。

このような状況下、当社グループでは、販売・利益を確保するため、競争力のある高品質・低価格商品の開発を行うとともに、市場ニーズに合致した商品の早期開発に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高13,732百万円（対前年同四半期比97.5%）、営業利益983百万円（対前年同四半期比148.5%）、経常利益757百万円（対前年同四半期比141.9%）、四半期純利益469百万円（対前年同四半期比367.1%）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

日本における当第2四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は13,403百万円（対前年同四半期比97.6%）、セグメント利益（営業利益）は917百万円（対前年同四半期比149.7%）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内合繊メーカー各社への販売が縮小され低調な結果となりました。海外への販売におきましては、中国合繊メーカー各社での生産調整による減産が継続、販売数量が低迷し、外部顧客に対する売上高は1,422百万円（対前年同四半期比94.2%）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内では、炭素繊維は航空機、産業資材向けを中心に回復基調で推移しましたが、消費低迷と繊維製品の低価格化によりテキスタイル分野の加工量が減少しました。また、化学工業分野では洗浄剤原料の販売が増加しました。海外では工業用繊維分野、弾性繊維分野、高機能繊維分野は販売数量が増加しましたが、欧州向けの需要が低迷し、一部の衣料用分野の販売が低調となりました。その結果、外部顧客に対する売上高は7,874百万円（対前年同四半期比98.4%）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、繊維関連加工剤の加工量が減少し、販売が低調でした。化学工業分野では高騰する原料価格への対応として製品価格の修正に取り組んでおり、また、洗浄剤原料の販売も回復し、外部顧客に対する売上高は493百万円（対前年同四半期比102.1%）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維関連では、織布向け製織用糊剤の販売は在庫過多による生産調整で減少しました。非繊維関連では、化粧品原料は堅調に推移しております。建材関係では住宅着工件数の低迷が続いておりますが、補修用途の拡大で有機高分子製品の出荷が回復傾向となりました。一方、液晶分野の設備投資が低迷した影響により、設備投資関連資材の販売が減少しました。その結果、外部顧客に対する売上高は3,613百万円（対前年同四半期比96.6%）となりました。

② インドネシア

インドネシアにおける当第2四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は329百万円（対前年同四半期比94.8%）、セグメント利益（営業利益）は37百万円（対前年同四半期比124.7%）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、特殊用途の小口の新規顧客獲得がありましたが、販売数量、金額とも前年を下回り、外部顧客に対する売上高は2百万円（対前年同四半期比73.9%）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、合織の紡糸・紡績・コーニングオイル油剤は堅調に推移しましたが、スパン用、フィラメント用平滑剤は既存ユーザーの使用量の低下で販売数量が減少しました。その結果、外部顧客に対する売上高は148百万円（対前年同四半期比92.1%）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、販売金額ともに大きな進展は見られず、外部顧客に対する売上高は2百万円（対前年同四半期比98.5%）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、インドネシア国内のフィラメント織物は撚糸物が増加し、既存ユーザーの糊剤の使用量が減少しておりますが、新規ユーザーの開拓と新商品の拡販により前年並みの販売実績を維持しております。また自動車、オートバイ用のタイヤ離型剤は、オートバイの販売数量が減少したことやタイヤの減産の影響を受け、販売数量が減少しました。その結果、外部顧客に対する売上高は177百万円（対前年同四半期比97.6%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という）比46百万円（0.1%）増加して、46,186百万円となりました。流動資産は前期末比1,035百万円（3.2%）増加の33,749百万円、固定資産は前期末比989百万円（7.4%）減少の12,437百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、有価証券が203百万円前期末より減少したものの、現金及び預金が878百万円、受取手形及び売掛金が335百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。固定資産減少の主な要因は、繰延税金資産が170百万円前期末より増加したものの、投資有価証券が939百万円前期末より減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比422百万円(5.2%)増加の8,507百万円となりました。流動負債は、前期末比395百万円(5.2%)増加の8,043百万円、固定負債は前期末比26百万円(6.1%)増加の464百万円となりました。

流動負債増加の主な要因は、賞与引当金が164百万円前期末より減少したものの、買掛金が560百万円、短期借入金が100百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。固定負債増加の主な要因は、退職給付引当金が22百万円前期末より増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前期末比375百万円(1.0%)減少して37,679百万円となりました。

純資産減少の主な要因は、その他有価証券評価差額金が351百万円前期末より減少したことによるものであります。この結果自己資本比率は、前期末の82.1%から81.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前期末に比べて、1,962百万円増加(前年同四半期は600百万円の減少)し、17,602百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,163百万円の現金及び現金同等物の増加(前年同四半期は376百万円の増加)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益731百万円、仕入債務の増加額563百万円、減価償却費346百万円、その他の営業外損失292百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額338百万円、法人税等の支払額255百万円、賞与引当金の減少額164百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは1,351百万円の現金及び現金同等物の増加(前年同四半期は154百万円の減少)となりました。収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入6,720百万円、有価証券の償還による収入282百万円、保険積立金の払戻による収入105百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出5,520百万円、有形固定資産の取得による支出191百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは408百万円の現金及び現金同等物の減少(前年同四半期は609百万円の減少)となりました。収入の内訳は、短期借入れによる収入100百万円であり、支出の内訳は、配当金の支払額508百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、経済情勢及び為替の動向も不透明でありますので、平成24年5月11日発表の数値を変更しておりません。なお今後、通期業績予想の修正を行う必要がある場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,447	18,326
受取手形及び売掛金	7,836	8,171
有価証券	2,494	2,290
商品及び製品	1,760	1,816
仕掛品	442	449
原材料及び貯蔵品	1,115	1,125
繰延税金資産	512	474
その他	1,108	1,099
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	32,713	33,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,319	6,349
減価償却累計額	△3,941	△4,050
建物及び構築物(純額)	2,378	2,298
機械装置及び運搬具	9,855	9,943
減価償却累計額	△8,209	△8,378
機械装置及び運搬具(純額)	1,645	1,564
土地	529	529
建設仮勘定	79	53
その他	1,491	1,496
減価償却累計額	△1,363	△1,370
その他(純額)	128	125
有形固定資産合計	4,761	4,572
無形固定資産		
その他	12	18
無形固定資産合計	12	18
投資その他の資産		
投資有価証券	7,679	6,739
長期貸付金	173	117
繰延税金資産	236	407
その他	568	586
貸倒引当金	△5	△3
投資その他の資産合計	8,652	7,846
固定資産合計	13,426	12,437
資産合計	46,140	46,186

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,545	6,106
短期借入金	700	800
未払法人税等	267	173
賞与引当金	268	103
その他	866	860
流動負債合計	7,647	8,043
固定負債		
退職給付引当金	251	274
資産除去債務	94	95
その他	91	94
固定負債合計	438	464
負債合計	8,085	8,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,517	6,517
利益剰余金	27,684	27,645
自己株式	△1,746	△1,746
株主資本合計	38,546	38,506
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△447	△798
為替換算調整勘定	△217	△232
その他の包括利益累計額合計	△664	△1,031
少数株主持分	173	203
純資産合計	38,054	37,679
負債純資産合計	46,140	46,186

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	14,080	13,732
売上原価	11,481	10,835
売上総利益	2,599	2,897
販売費及び一般管理費	1,937	1,913
営業利益	662	983
営業外収益		
受取利息	39	24
受取配当金	32	34
持分法による投資利益	36	25
その他	67	93
営業外収益合計	175	177
営業外費用		
支払利息	4	2
投資事業組合運用損	167	317
為替差損	127	74
その他	4	8
営業外費用合計	303	404
経常利益	533	757
特別利益		
関係会社株式売却益	—	12
特別利益合計	—	12
特別損失		
固定資産除却損	2	8
投資有価証券評価損	293	29
ゴルフ会員権評価損	2	—
特別損失合計	298	38
税金等調整前四半期純利益	235	731
法人税、住民税及び事業税	20	161
法人税等調整額	66	65
法人税等合計	87	227
少数株主損益調整前四半期純利益	147	504
少数株主利益	19	34
四半期純利益	127	469

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	147	504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△198	△350
為替換算調整勘定	12	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△12
その他の包括利益合計	△185	△370
四半期包括利益	△37	133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△63	103
少数株主に係る四半期包括利益	25	30

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	235	731
減価償却費	390	346
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△1
受取利息及び受取配当金	△71	△58
支払利息	4	2
為替差損益 (△は益)	77	45
持分法による投資損益 (△は益)	△36	△43
売上債権の増減額 (△は増加)	△248	△338
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△305	△78
仕入債務の増減額 (△は減少)	△41	563
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△162	△164
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7	23
投資有価証券評価損益 (△は益)	293	29
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△12
有形固定資産除却損	2	8
その他の営業外損益 (△は益)	167	292
未収消費税等の増減額 (△は増加)	25	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	—	△22
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△11	△4
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	8	45
小計	335	1,363
利息及び配当金の受取額	76	58
利息の支払額	△4	△3
法人税等の支払額	△31	△255
営業活動によるキャッシュ・フロー	376	1,163
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△127	△191
有形固定資産の売却による収入	—	1
投資有価証券の取得による支出	△4	△3
投資有価証券の売却による収入	3	—
有価証券の償還による収入	—	282
無形固定資産の取得による支出	—	△8
定期預金の預入による支出	△10	△5,520
定期預金の払戻による収入	—	6,720
関係会社株式の売却による収入	—	13
長期貸付けによる支出	△0	—
長期貸付金の回収による収入	0	48
保険積立金の積立による支出	△31	△151
保険積立金の解約による収入	10	52
保険積立金の払戻による収入	0	105
その他	4	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△154	1,351

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	100
短期借入金の返済による支出	△100	—
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△508	△508
財務活動によるキャッシュ・フロー	△609	△408
現金及び現金同等物に係る換算差額	△213	△143
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△600	1,962
現金及び現金同等物の期首残高	18,200	15,639
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,599	17,602

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	13,733	347	14,080
セグメント間の内部売上高 又は振替高	119	25	145
計	13,852	373	14,225
セグメント利益	612	30	642

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	642
セグメント間取引消去	18
棚卸資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	662

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	13,403	329	13,732
セグメント間の内部売上高 又は振替高	128	21	149
計	13,531	351	13,882
セグメント利益	917	37	954

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	954
セグメント間取引消去	28
棚卸資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	983

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。